

令和3年度の取り組み

① 親子三代ふれあい会や瑞穂祭の活性化

- ・親子三代ふれあい会は集まることはできなかったが、訪問して賞状・記念品を配布できた。
- ・ワンダーランド（小瀬小学校ふれあいスクール）、距離を取って実施した。
- ・今後の内容について中学生や30～40代の方のアイデアを入れていこうと話合った。

② 地域の魅力を発信し、「住みたい、住み続けたい」地域に

- ・見守り活動（環境美化活動）

③ 後継者・担い手を発掘し、全ての世代が主体的に参加できる地域に

- ・笠木小学校で「賽の神」が実施された。
- ・笠木小学校での田んぼの活動への協力
- ・民生委員として担当地区の自治会長に名刺を配布し、つながりづくり・つながり継続を図れた。
- ・感染症の中でも対策を施して集会や会議を行った。（自治会総会や役員会など）

④ 高齢者がつながりを持ちながら、いきいきと過ごせる地域づくり

- ・地域の茶の間「明田しゃっきり体操」創設。（毎週開催）
- ・地域の茶の間「中才の茶の間」創設。（月1回開催）
- ・自治会婦人部での集まりを継続できた。
- ・「友愛訪問」など高齢者見守り訪問を継続できた。
- ・笠木小学校と新潟あそか苑がZoomを活用し、オンライン交流できた。
- ・中野小屋中学校で「いきいき健康教室」開催した。
- ・笠木小学校・小瀬小学校で地域と学校パートナーシップ事業「ボタニカルセミナー」を開催した
- ・中野小屋中学校・笠木小学校・小瀬小学校で「認知症サポーター養成講座」を開催した。

現在の課題

- ・コロナ禍で様々な活動ができていないこと（会議、集会、研修、施設ボランティア、田植え・稲刈り体験、保育園訪問、一斉クリーンデー、中学生との話し合いなどなど）
- ・担い手不足（民生委員、地域組織の役員など）
- ・とにかく子どもの人数が減っていること、若い世代が地域外へ流出していること
- ・親子三代ふれあい会が2年連続でできなかった。再開時大きなエネルギーが必要かもしれない。
- ・樽砦の終了がとにかく残念。
- ・体操の場や地域の茶の間が近くにあれば行きたいという声あり

令和4年度取り組んでいきたいこと

① 親子三代ふれあい会や瑞穂祭の活性化

- ・親子三代ふれあい会、瑞穂祭（地域の文化祭）を実施したい！  
形を変えるなどの工夫をする、中学生や若い人たちのアイデアを取り入れていく。

② 地域の魅力を発信し、「住みたい、住み続けたい」地域に

- ・若い世代の地域外への流出を止める方法（魅力の発信など）の検討
- ・異年齢の人が集まりフリートークできる場が作りたい。
- ・賽の神、樽砦など伝統行事を地域全体で取り組み、その魅力を地域内外に発信していく。

③ 後継者・担い手を発掘し、全ての世代が主体的に参加できる地域に

- ・地域住民からの意見やアイデアをボトムアップできるしくみがあるといい。
- ・地域活動、地域組織の担い手づくり、後継者づくり。
- ・異年齢の人が集まりフリートークできる場が作りたい。
- ・もっと女性を地域組織の役員に起用したい。
- ・集会や研修会を復活させる。
- ・中野小屋地区全体の「賽の神」が実施できたらいい。
- ・樽砦の復活（子どもだけでなくOBや大人も含めて）
- ・民生委員と自治会長の情報交換会を実施する。
- ・「責任者の集い」を実施したい。
- ・自主防災組織を設立する。

④ 高齢者がつながりを持ちながら、いきいきと過ごせる地域づくり

- ・友愛訪問時、時間をとってお話する機会を増やしたい。
- ・地域の茶の間、有意義な取り組みをはじめたい。
- ・ハローイン（榎尾：子どもたちが高齢世帯を訪問しお菓子をもらう行事）を実施したい
- ・「勸進」が復活できるといい。
- ・保育園訪問をしたい。

第3次いきいき西区ささえあいプラン地域別計画振り返りシート  
東青山小学校区

令和4年2月28日作成

目標・目指す姿・・・こんなまちにしたい

明るく、安心、安全に暮らせるまち「東青山小学校区」

令和3年度の取り組み

① 誰もが認め合い助け合うまちづくり

- ・自治会のお茶の間サロンの実施
- ・コミ協だより年2回発行した
- ・友愛訪問、敬老の日のお祝い届けを実施

② 信頼でつながり、連携できるまちづくり

- ・区政懇談会、前期自治会長連絡会の実施
- ・セーフティスタッフの協力のもと、登下校の見守りを実施
- ・防犯パトロールを実施した（年3回）

③ 一人ひとりが自分らしく参加できるまちづくり

- ・地域における環境美化活動の推進をした
- ・コミ協役員会を実施（2ヶ月に1回）

④ 健やかに安心して暮らせるまちづくり

- ・民生委員、自治会役員との情報共有
- ・いこいの広場を活用した、友だちや趣味を活かした場所を提供

現在の課題

- ・高齢者のコロナ禍での孤立が進んでいる
- ・自治会長との連絡会議が1回しかできなかった（会場確保困難）

令和4年度取り組んでいきたいこと

① 誰もが認め合い助け合うまちづくり

- ・ふれあい祭り（東青山小）
- ・もちつき大会（東青山小、小針小）
- ・すくすく広場（子育てサロン）

② 信頼でつながり、連携できるまちづくり

- ・高齢者を中心とした講演会
- ・民生委員と自治会長との連絡会
- ・高齢者世帯について、自治会長と民生委員の情報共有

③ 一人ひとりが自分らしく参加できるまちづくり

- ・健康ウォーキング活動
- ・お茶の間サロン
- ・花いっぱい運動の推進
- ・コミ協だよりの発行

④ 健やかに安心して暮らせるまちづくり

- ・コミュニティ広場を活用した各種行事
- ・区役所、社協、包括等の各行事への参加

その他

## 令和3年度の取り組み

### ① みんなが健康！声かけあって健康づくり

- ・オレンジロード（電車道の遊歩道）でウーキングをしている人が多い、あいさつをするなかで顔見知りが出てきている。
- ・回数は減ったがふれ協主催の健康体操が実施できた。参加者が少しずつ増えている。
- ・脳外科の先生による健康に関する講演会の実施（多くの人が関心がある）

### ② 住民参加による安心できる生活

- ・小・中学校の防災学習である「あそぼうさい」「ジュニアレスキュー」の取り組みができた。
- ・自治会で公園清掃、草取りが出来た。（集まりの場となった）
- ・コロナ対策をしながら自治会行事ができた（夏祭り・注連縄づくり）
- ・地域による学校でのボランティア活動が続けられた。
- ・ビデオを作って中学校で人権啓発活動ができた。
- ・地域の茶の間が続けられた。（てつ家）
- ・ふれ協主催の講演会を開催。

### ③ 地域全体で暮らしを支えあいし安心できる生活

- ・友愛訪問等高齢者の見守り活動が続けられた。
- ・児童の見守り活動ができた。
- ・地域で困りごとを支える「なじらね隊」が発足
- ・立仏ふなっこ活動（子育てサロン）は中止となったが、スタッフ会議は実施した。

### ④ 誰でもSOSが発信できる地域づくり

- ・困っている人の情報を得るのが難しい。

## 現在の課題

- ・コロナ過で人数制限等思うようにできなかった。活動の継続や今後の取り組みが不安（自治会行事、公園清掃、地域全体の避難訓練等（一度途切れると立上が不安、継続が大切）
- ・コロナ過で閉じこもりがちになった高齢者の機能低下、孤立。
- ・「なじらね隊」の担い手不足。利用者の活動についての理解を得るのが難しい。

## 令和4年度取り組んでいきたいこと

### ① みんなが健康！声かけあって健康づくり

- ・オレンジロードを利用したウォーキング大会
- ・健康体操を続ける。身体を動かす機会を作る。（高齢者を対象に気軽に参加できる場）

### ② 住民参加による安心できる生活

- ・住民同士や役員同士で集まって話をする機会をつくる。
- ・公園清掃を続ける。
- ・自治会行事を再開する。（子供たちがハロウィンの仮装をしながら、通学路の危険個所を確認する取組を感染対策をしながらできるか検討したい）
- ・休止している小学校のボランティア活動（よみきかせ）を再開したい。
- ・オレンジロードを活用したイベント（お祭りやフリーマーケット等沿道の自治会が一体間をもってるような協働イベント）
- ・済生会病院、アピタ、小学校、保育園当地域が一体となった取り組みを実施したい。

### ③ 地域全体で暮らしを支えあいし安心できる生活

- ・高齢者見守り支援、声かけを進める。
- ・近所付き合いを深める。
- ・少人数でもいいので防災訓練の実施。
- ・立仏ふなっこ（子育てサロン）や立仏ワンダーランド（ふれあいスクール）を再開したい。
- ・「なじらね隊」の取り組みが円滑に進むように地域で応援。

### ④ 誰でもSOSが発信できる地域づくり

- ・町内の情報が共有できるように自治会LINEを作る。

- ・防災面での危機意識不足。
- ・地域活動に携わる人の高齢化と地域全体の高齢化。
- ・学校の子供たち・高齢者・孤立者等困っていることが分からない。情報が取りにくい。
- ・ゴミ出しルールが守れない人がいる。